

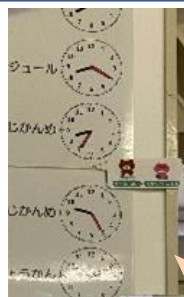
小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

光市立浅江小学校

学習環境の整備・学習指導の工夫

子どもの安心感につながる学習環境の工夫と子どもの思いや願いを生かした学習活動の工夫

スタートカリキュラムの工夫によるなめらかな接続



正しい座り方と合い言葉を掲示。毎時間一人ひとりの姿勢の確認を行っている。



上手に整頓している様子を掲示。落ち着いた生活をしようという気持を育てている。

1日の流れを時計の掲示物で表示。児童が時計を見て行動できるようになっている。

「にこにこタイム」では、1年生にかかわる教員を紹介したり、アレルギーについて学習したりした。



成果

1年生全学級で同じ掲示をして、個に応じた繰り返し指導を行った。そのため、約2ヶ月間の空白の時間により不安の大きかった児童も、落ち着いた雰囲気の中、学習習慣や生活習慣の定着が図られている。これは、30人学級化による、きめ細かな指導・支援によるものである。

様々な交流による学びの充実



2年生との学校探検。優しく学校を案内してもらって、学校が好きになった。



図書指導員による読書指導。本を借りた後の読み聞かせは、子ども達の楽しみの一つ。

友達づくりの学活の授業。「探偵ごっこ」をして、友達を身近に感じることができた。



成果

他学年や担任以外の教員との交流の機会をより多く設定すること、学級での児童の交流の仕方を工夫することで、安心感と所属感が芽生え、児童は、のびのびと活動するようになった。それは、自分の思いや考えを安心して表出することにつながり、「主体的・対話的で深い学び」につながっている。